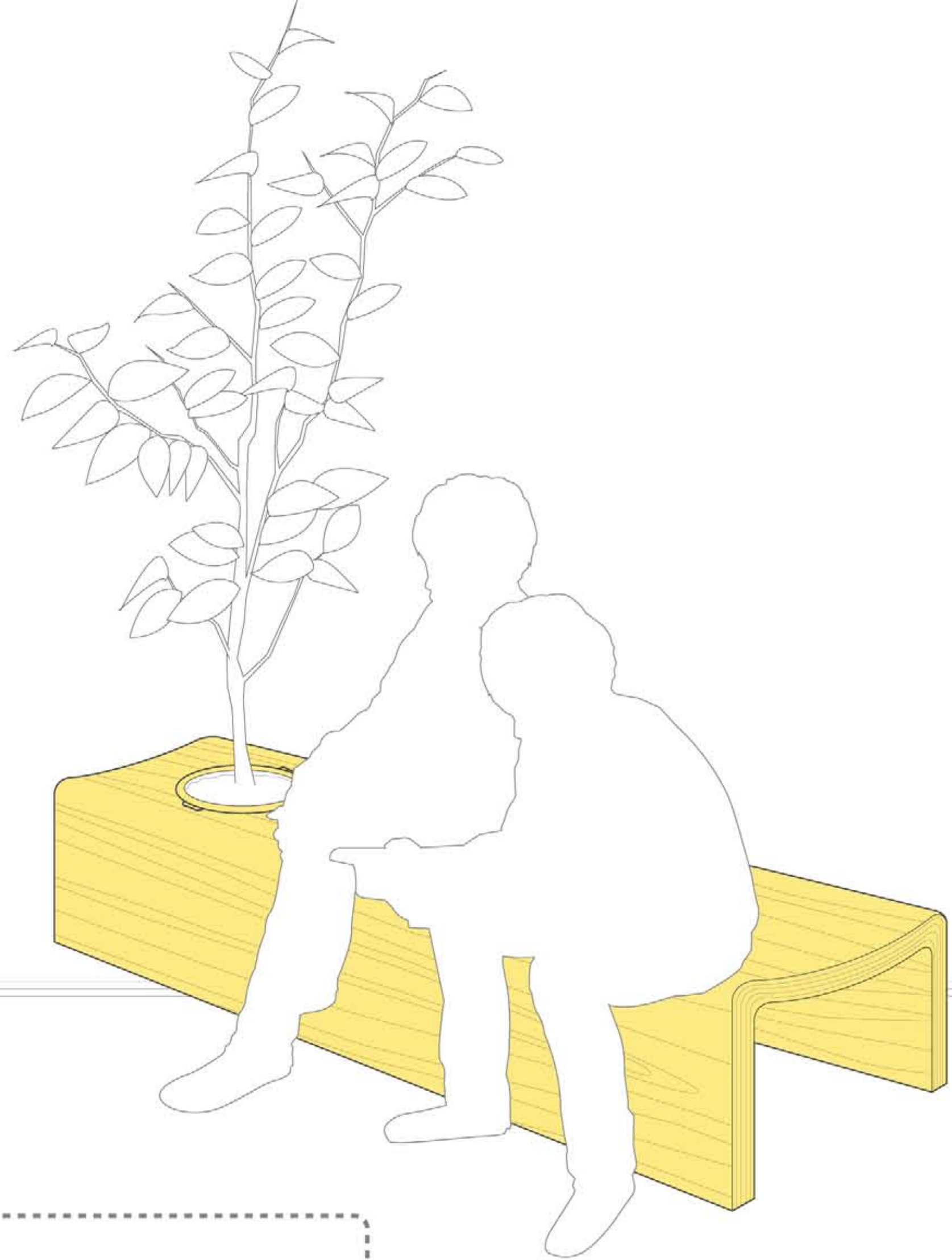


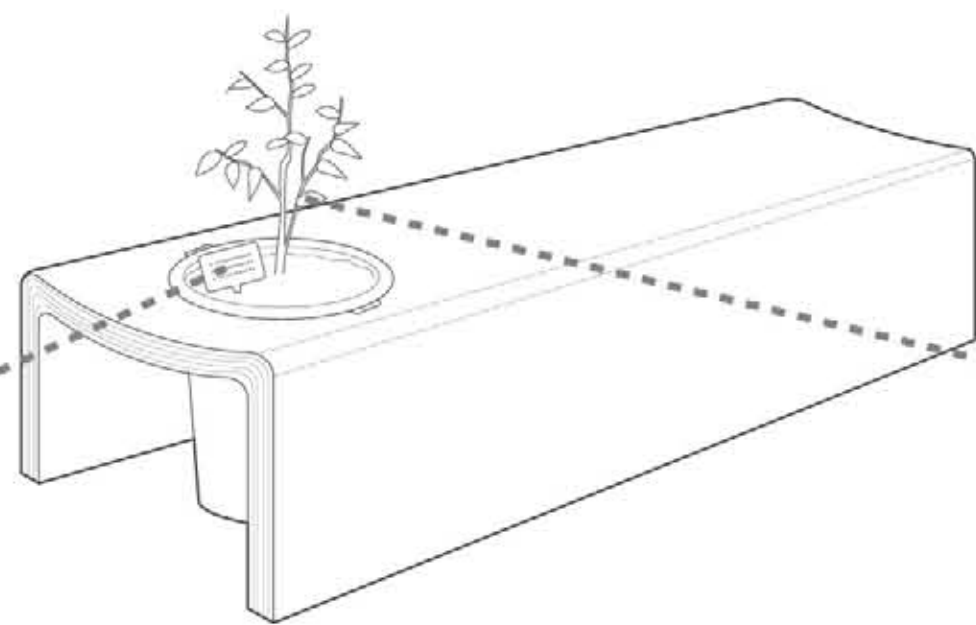
HITOTOKI

ヒ ト ト キ

「ヒトキ」は「ヒト」と「キ」が一緒に座るイスです。
ブナ材で作られたイスにはブナの苗木が植えてあります。
家具として使われている木が、人と同じ、小さな命であることを
知ってもらいたいからです。
一緒に座り、いつも木の存在を感じ、愛でる心を忘れないようにと。
そして、人だけではない全ての生き物が共に生きていることを
忘れないことこそが、より良い未来を創る大きな一歩になると考え
この「ヒトキ」を作りました。

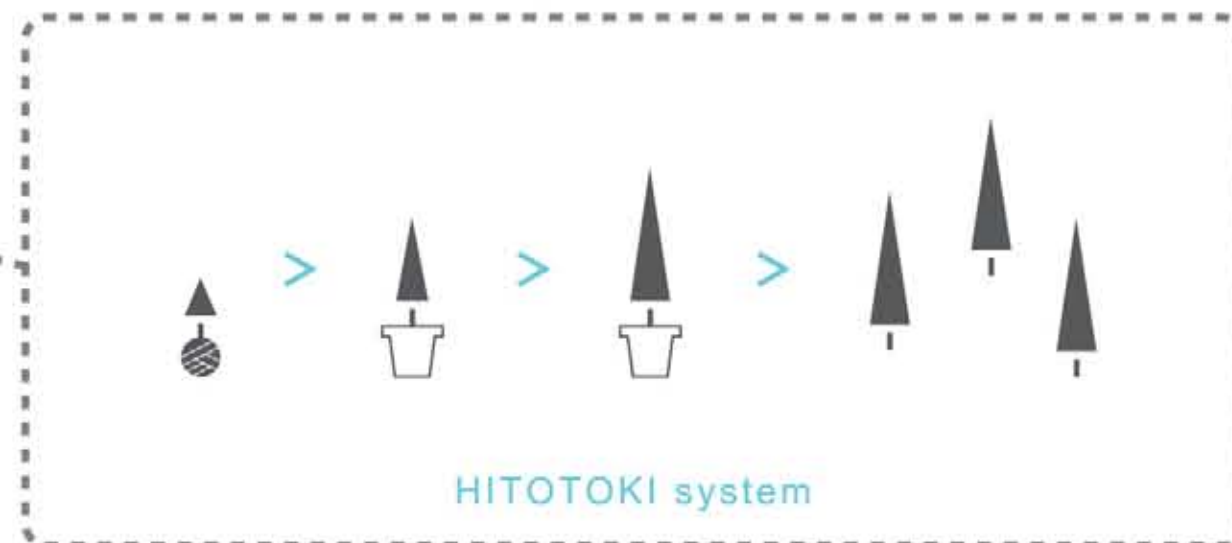


ヒトキシステム



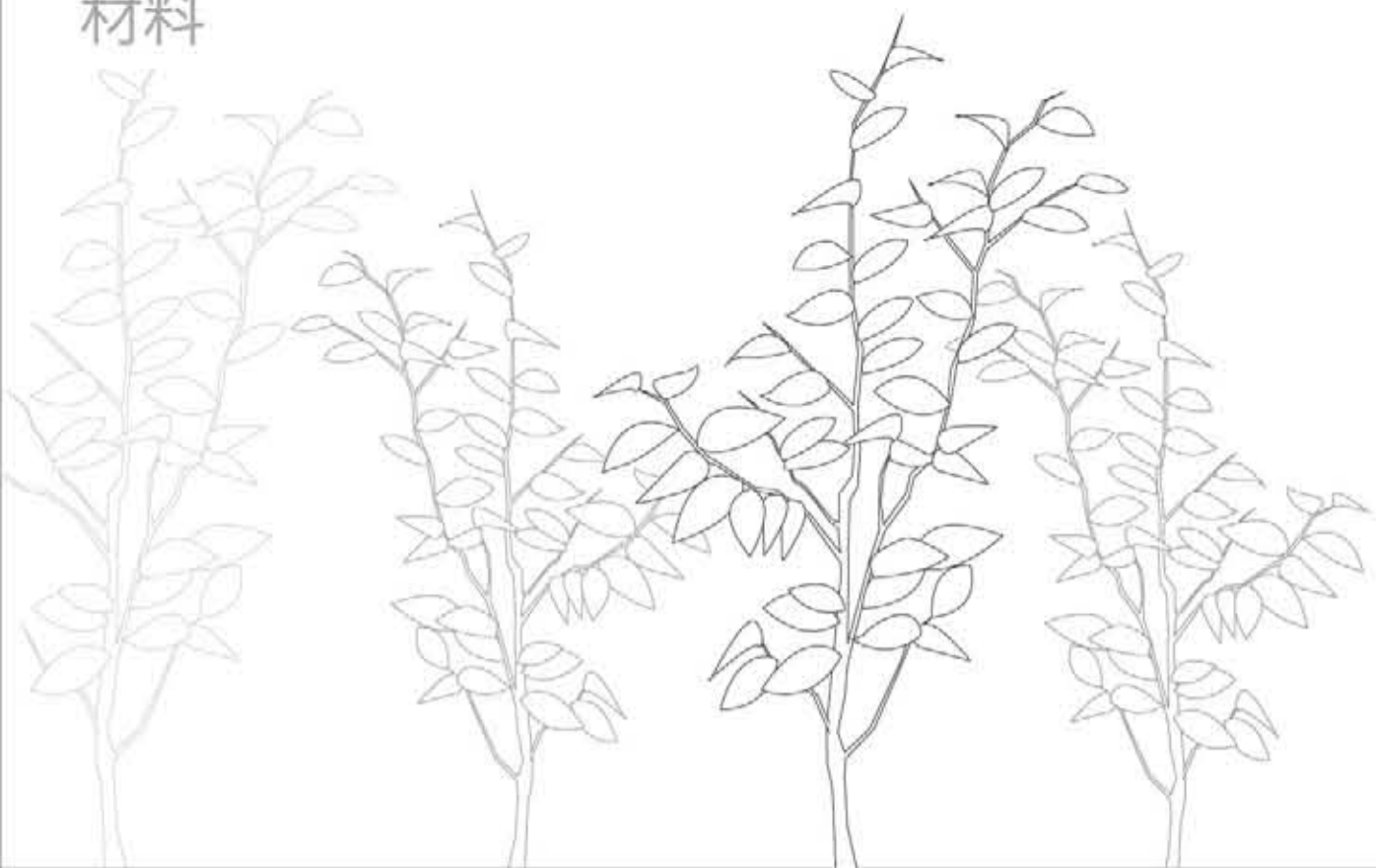
- 品種 ○○ブナ
- 原産地 北海道
- 植栽年月日 23年8月31日
- ベンチ材質 ○○ブナ
このベンチは一緒に植えられている○○ブナで出来ています

HITOTOKI



「ヒトキ」にはもう一つの役割があります。
苗木を植え、ある程度成長した木を森へと返すことです。
木の成長と共に人も歳を取り、その子供に、
またその子供にと世代を渡し、木と環境の大切さも
一緒に受け継いでほしいと思いました。

材料



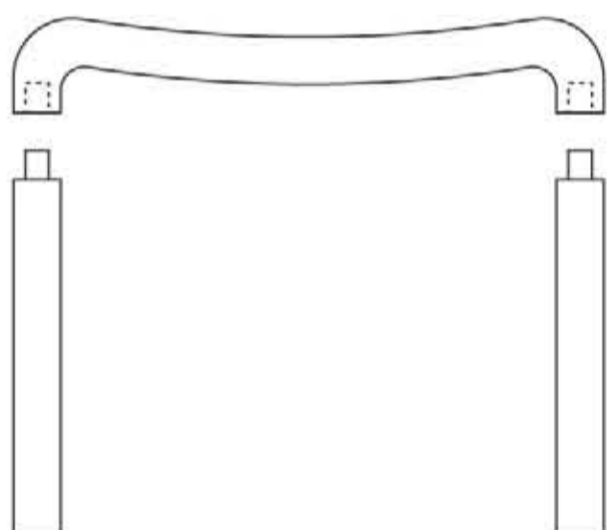
植物としてのブナ

ブナ林は冷温帯を代表する樹種で、雪が積も厳しい自然環境にも順応し山域を保全するとともに抜群の水源かん養と肥沃な土壌の生成を行っています。ブナ林は明るい森を作るため、草本層の植物が豊かになり、緑豊かな森を作ります。また、夏の乾燥や冬の寒さから森を守り、その実は動物の餌になるなど森の生き物には母のような存在でありながらブナ林は日本の温帯を代表する森林と言えるほど、日本人の心の故郷のような存在でもあります。私たちにとっても四季折々の表情を見せてくれるため、ブナは人々や森の生物にとって多大な恵みを与える木と言えます。

素材としてのブナ

曲げに適しており、椅子の脚に使われることの多いブナ。比較的安価で手に入りやすく、また産地が日本各地に分布していて豊富な資源です。ある頃を境にブナ林は杉林と植え替えられ、特に使用頻度が多かった時に比べるとその数は減ってしまいましたが植物としてもメリットの多いブナを選びました。

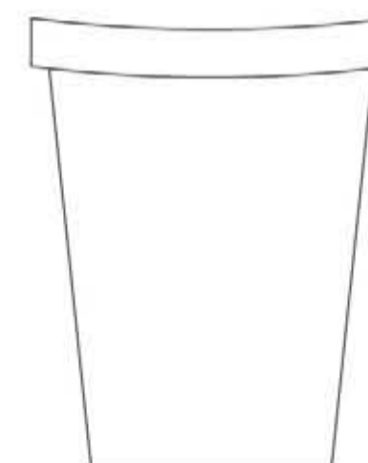
製造方法



ヒトトキのベンチは3つの部材で構成されます。いずれも合板を使用していますが、座面の部分のみ曲げ木の加工を施しています。脚と座を分離させることで極力加工工程を抑え、また座の曲げに使う金型も最小限に抑えた作りとなっています。

座と脚の接合部はダボで固定されています。

材料としてそれほど高価なものではない合板と曲げ木に適したブナ材を座面に使うことで製造過程において無理のないベンチです。

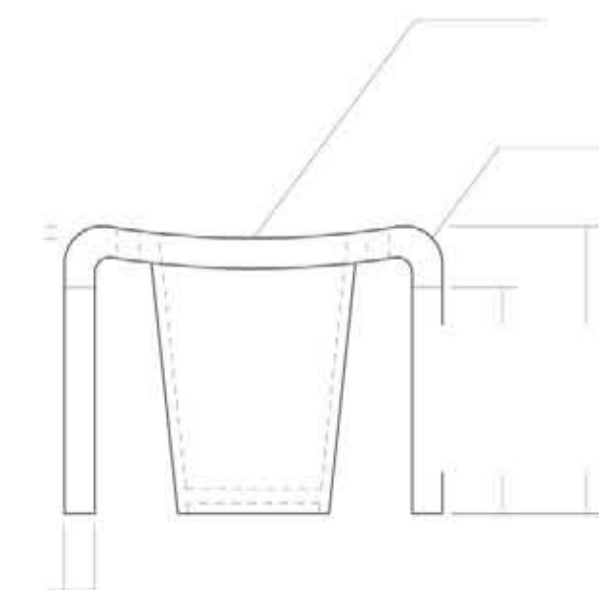
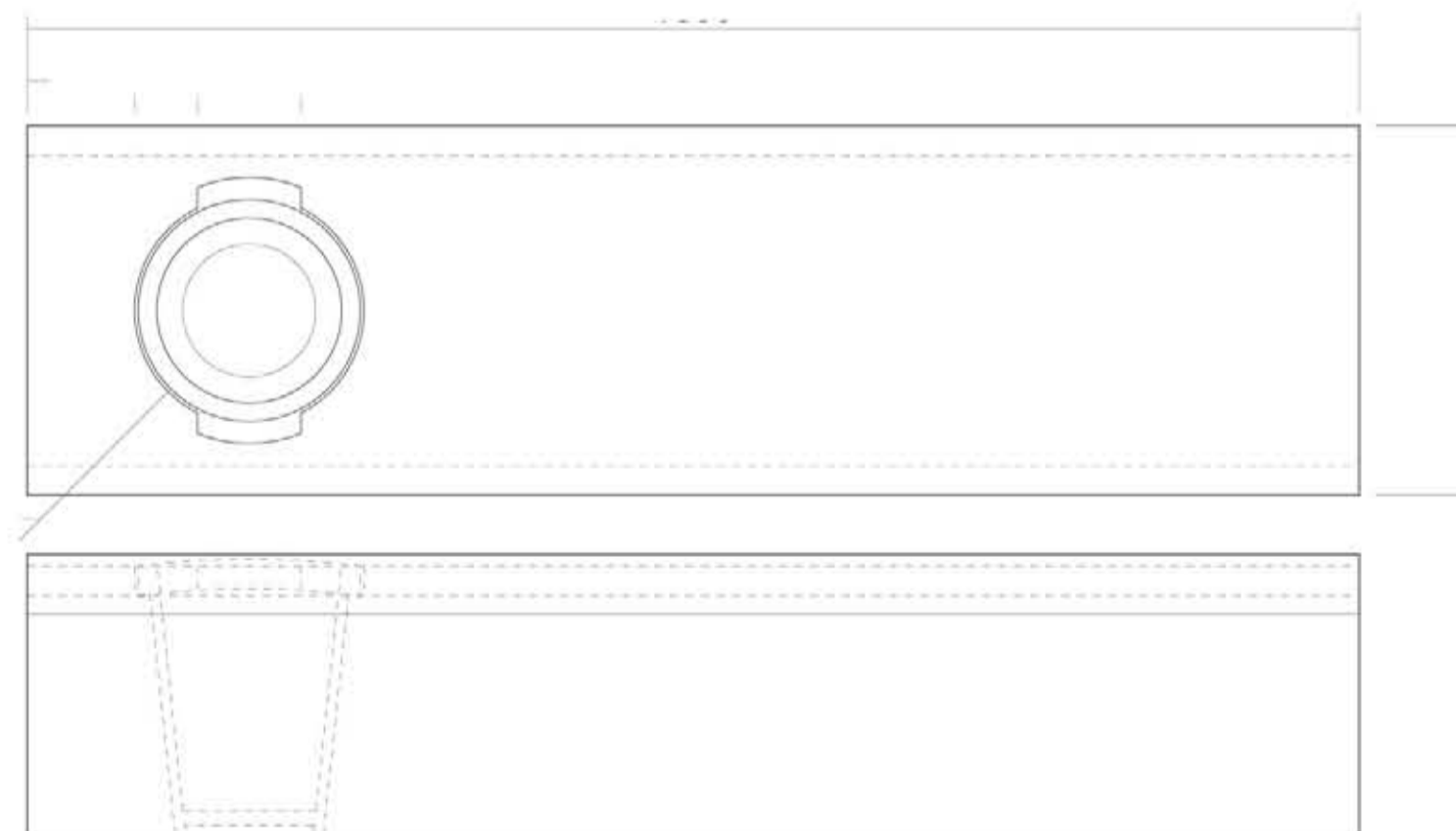


そして鉢植は無垢のブナ材から削り出されます。

ベンチ、鉢植両方に屋外での使用も考えて表面にウレタン塗装を施します。

構造と図面

構造は曲げ木による座と脚の一体ベンチといたってシンプル。ベンチの他に鉢植もあるが、この2つはジョイントされてなくお互いが独立して成り立っている。ベンチに空いた鉢植の差込口には鉢植を出し入れする際に手を入れるための穴が開いている



縮尺：1/10